

第3回京都文学賞の実施に向けて

まさに劇的な決着でした。331作の御応募を頂いた第2回、海外部門応募作『鴨川ランナー』が、部門を超えて一般部門最優秀賞に輝きました。創設の契機である「世界文化自由都市宣言」の中で、京都は「優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市でなければならない」と謳われています。これまでの受賞作『羅城門に啼く』（第1回一般部門最優秀賞、新潮社から刊行）、『屋根の上のおばあちゃん』（第1回一般部門優秀賞、河出書房新社から刊行）、『鴨川ランナー』（第2回一般・海外部門最優秀賞、講談社から刊行予定）に続く作品を生み出し、「永久に新しい文化都市・京都」を創り上げていくのは、多彩な「新しい京都」を創造する書き手の皆さん、そして優れた作品を選ぶ読み手の皆さんです。

コロナ禍は、社会や経済、人々の心にも様々な影響を与えています。そんな中、心を潤し、励まし、揺さぶる文学の力は大きなものがあります。じっくりと紡がれ、織られた、あなたの言葉と物語を、それを待つ人と社会に届けてください。

作品募集要項

募集作品

- 京都を題材とする「小説」とし、純文学、時代小説、ミステリー等ジャンルは問いません。
- 日本語で書かれた自作の作品で、未発表のものに限ります。
（ただし、インターネット上で掲載された作品や、同人雑誌、自費出版物等で発表された作品については、営利を目的としていないもの限り、未発表とみなし応募を受け付けます。その場合、必ず掲載又は発表した媒体名を明記してください。）
- 他の文学賞との二重投稿及び過去に入選した作品の応募は禁止します。
- 第三者の著作権、その他の権利・利益を侵害したり、そのおそれがない作品に限ります。
- 文献や資料などを引用した場合、その出典を必ず明記してください。

応募区分・資格

- 「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門を設け、プロ・アマを問わず、国内外から作品を募集します。
- 「一般部門」については、年齢・国籍を問わず、高校生以下の方や外国籍の方も含めどなたでも応募することができます。
- 「海外部門」については、留学生をはじめ外国籍を有する方を対象とします。

応募規定

- 作品分量 ※ ルビ、注釈、参考文献は文字数に含みません。※ 一般部門・海外部門は手書き原稿不可

一般部門	28,000字以上 160,000字以内
中高生部門	・手書き原稿の場合 400字詰（20字×20行）原稿用紙で、20枚以上 150枚以内 ・パソコン原稿の場合 400字詰（20字×20行）原稿用紙に換算し、20枚以上 150枚以内 ※ 提出原稿は以下の書式（30字×40行）を使用のこと
海外部門	8,000字以上 60,000字以内

● 原稿の書式	
パソコン原稿	A4判、横長、マス目なし / 30字×40行 / 縦書き ※ 専用サイトからダウンロード可
手書き原稿（中高生部門のみ）	A4判、横長 / 400字詰（20字×20行）原稿用紙 / 縦書き ※ 消せるボールペンや鉛筆での記入は不可。濃くはっきりと読める字で丁寧に記してください。 ※ 誤字脱字、表記ミスなどの確認のため、作品を読み返してから御応募ください。

- 作品本文ページの左下に通し番号（ページ番号）を入れ、郵送の場合は右肩をクリップで綴じてください（ホッチキス留めは不可）。

※ 中高生部門・海外部門で御応募いただいた作品が、一般部門の作品分量を満たしており、かつ最終選考まで残った場合、最終選考委員の意見により、一般部門において選考を行うことがあります。

応募方法

- 応募方法はWEBの応募フォーム（専用サイトに設置）又は郵送のいずれかとします。

WEBで応募する場合	・応募フォームに必要事項を入力の上、作品及び右記の表紙1枚目（あらすじ等）を添付し提出してください。 ・作品のファイル形式はWord又はPDFで添付してください。
郵送で応募する場合	作品原稿の上に、右記の表紙1枚目～3枚目を添えてお送りください。

- 表紙1枚目～3枚目（専用サイトからダウンロード）に記載する必要事項 ※ あらすじや文字数の記載漏れがないよう御注意ください。

〈表紙1枚目〉	〈表紙2枚目〉	〈表紙3枚目〉
・応募区分 ※ 中高生部門は学年、海外部門は国籍も記載	・ペンネーム（ふりがな）※ ペンネームがない方は、本名 ・作品のジャンル（純文学、ミステリー、ホラー、SF、ファンタジー、歴史、時代、青春、恋愛、その他 ※ 御自身の作品に一番近いものを1つ選択してください。 できる限り「その他」以外の選択肢からお選びください。） ・作品の総文字数（中高生部門は、400字詰（20字×20行）原稿用紙換算枚数） ・略歴（学歴、職歴、筆歴など） ・生年月日（西暦で記載）[任意] ・（応募作品の掲載歴等がある方のみ） 掲載したURL又は発表した同人雑誌、自費出版物等の名称	・本名（ふりがな） ・住所 ・電話番号 ・Eメールアドレス ・性別 [任意] ・職業 [任意] ・京都文学賞に関するアンケート [任意]

応募締切

令和3年9月13日（月）20時まで

※ 郵送の場合は、9月13日（月）消印有効。
WEBの応募フォームの場合は、上記日時まで。

賞の内容

一般部門	最優秀賞1点：賞金100万円、出版化 優秀賞 1点：賞金50万円
中高生部門	最優秀賞1点：図書カード10万円分 優秀賞 1点：図書カード5万円分
海外部門	最優秀賞1点：賞金10万円

表彰式・交流会

令和4年3月（予定） 京都市内の会場にて、受賞者のほか、選考委員や出版社等を招いて実施します。

注意事項

- 応募は一人一編とします。
- 応募後の作品の訂正、返却依頼は受け付けません。
必要があれば予めコピーしておいてください。
- 作品の選考に関するお問合せには応じられません。
- 応募により得た個人情報については、本文学賞に関するもの以外には使用しません。

最終選考委員から

いしいしんじ（作家）

京都をテーマに、というより、京都文学賞は、あなたにしか紡げない物語を求めています。物語にみち、物語を食み、過去へ未来へふくらんでいく京都という場が、ほんまに生きたはんのんか、と、あなたに問いかけている。生きた物語、期待しています。



京都大学文学部仏文学科卒。1994年『アムステルダム犬』でデビュー。『妻ふみくづエ』（坪田譲治文学賞）、『ある一日』（織田作之助賞）、『悪声』（河合肇雄物語賞）など著作多数。21年『源氏物語』の「京ことは」訳「げんじものがたり」刊行。



成蹊大学文学部卒。1989年「わたしのヌレエフ」(第1回フェミナ賞)でデビュー。『切羽へ』(直木賞)、『そこへ行くな』(中央公論文芸賞)、『赤へ』(柴田錬三郎賞)、『その話は今日はやめておきましょう』(織田作之助賞)、『あちらにいる鬼』など著作多数。21年『百合中毒』刊行。

最終選考委員

いしいしんじ（作家）、井上荒野（作家）、校條剛（文芸評論家）、読者選考委員の代表ほか

発表

一次選考	令和3年11月上旬頃に、選考結果を専用サイト上にて発表します。
二次選考	令和4年1月頃に、選考結果及び簡易な選評を専用サイト上にて発表します。
最終選考	令和4年2～3月頃に、受賞者へ直接通知するほか、選考結果及び選評を専用サイト等で発表します。

応募作品の著作権等

- 応募作品の著作権は応募者に帰属するものとします。
- 受賞作品については、そのあらすじや作品の一部を主催者のホームページや新聞、その他の発行物において掲載することがあります。
- 受賞作品の出版に当たっては、著作権を持つ応募者が出版を希望する協力出版社からの提案を基に、実行委員会と協議のうえ、出版社を決定するものとします。
- 選考及び記録に必要な範囲で主催者において応募作品を複製することがあります。

めんじょう つよし

校條剛（文芸評論家）

本賞の応募条件は「京都を題材」とすることとありますが、たとえばニューヨークを舞台にしたらいけないのでしょうか？そのような縛りはありません。たとえば空想の世界でヴァーチャルな京都を描くという方法だって可能でしょう。冒険心に溢れた作品を待望しています。



早稲田大学第一文学部卒。「小説新潮」編集長時代に、様々な文学賞を創設。元京都造形芸術大学文芸表現学科教授。著書に『ぬけられますか 私漫画家 滝田ゆう』（大衆文学研究賞）、『ザ・流行作家』、『作家という病』、『にわか（京都人）宣言』など。